

第3学年 道徳指導案

日 時 平成23年 9月30日(金) 5校時
児 童 男子14名 女子20名 計34名
指導者 大 森 恒 和

- 1 主題名 友達ならどうする〔2-(3)信頼〕
- 2 資料名 絵葉書と切手(学研 みんなのどうとく 3年)

3 主題について

(1) 価値について

学習指導要領第3章道徳の第3学年及び第4学年の内容2「主として他の人とのかかわりに関すること」の(3)に「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う」とある。これは、低学年の「友達と仲よくし、助け合う」及び高学年の「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う」と深くかかわっている。友達関係において基本とすべき精神を述べたものであり、友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする内容項目である。

友達は、家族以外で特にかかわりを深くもつ存在であるから、互いに影響し合いながら望ましい関係を築いていく必要がある。また、この時期の児童は、友達との交流が活発になってきて、親しい友達同士仲よくしたいという気持ちが強まる半面、その場の雰囲気や状況に左右されて、思慮を欠く判断をしてしまうこともある。そこで、本主題をもとに、互いを認め合い、様々な場面を通して理解し合い、協力し助け合って、信頼感や友情をはぐくんでいくことが大切であると考えた。

(2) 児童について

学級の児童は、明るく活発であり、楽しみながら学校生活を送っている。3年生になり、「力を合わせて」を学年のテーマとして掲げ、様々な活動を通して、互いを理解しながら、仲間を信頼し、協力できるようにと取り組んできた。

また、友達は誘い合い、男女仲良く遊ぶ様子も見られ、友達関係は概ね良い。しかし、つい友達に強く注意し過ぎたり、逆に今の関係を保とうと遠慮したりすることもある。つまり、本当に友達のためにという思いで行動するまでに至っているとは言えない。

そこで、このような児童に、相手の立場に立って考えながら、互いに信頼し合おうとする心情を育てていきたい。

(3) 資料について

本資料の主人公ひろ子は、転校した仲よしの友達、正子から絵葉書をもらう。しかし、それは定形外郵便物で70円の未納不足だった。本人にそのことを知らせるべきかどうか迷うひろ子の気持ちが綴られた話である。教えるべきという兄の意見と、教えない方がいいのではという母の考えに揺れながらも、ひろ子は教えることを選択する。

友達だからこそどうすればよいのか思い悩むひろ子の心の揺れをもとに、友達との心のつながりの大切さに気付かせることのできる資料である。

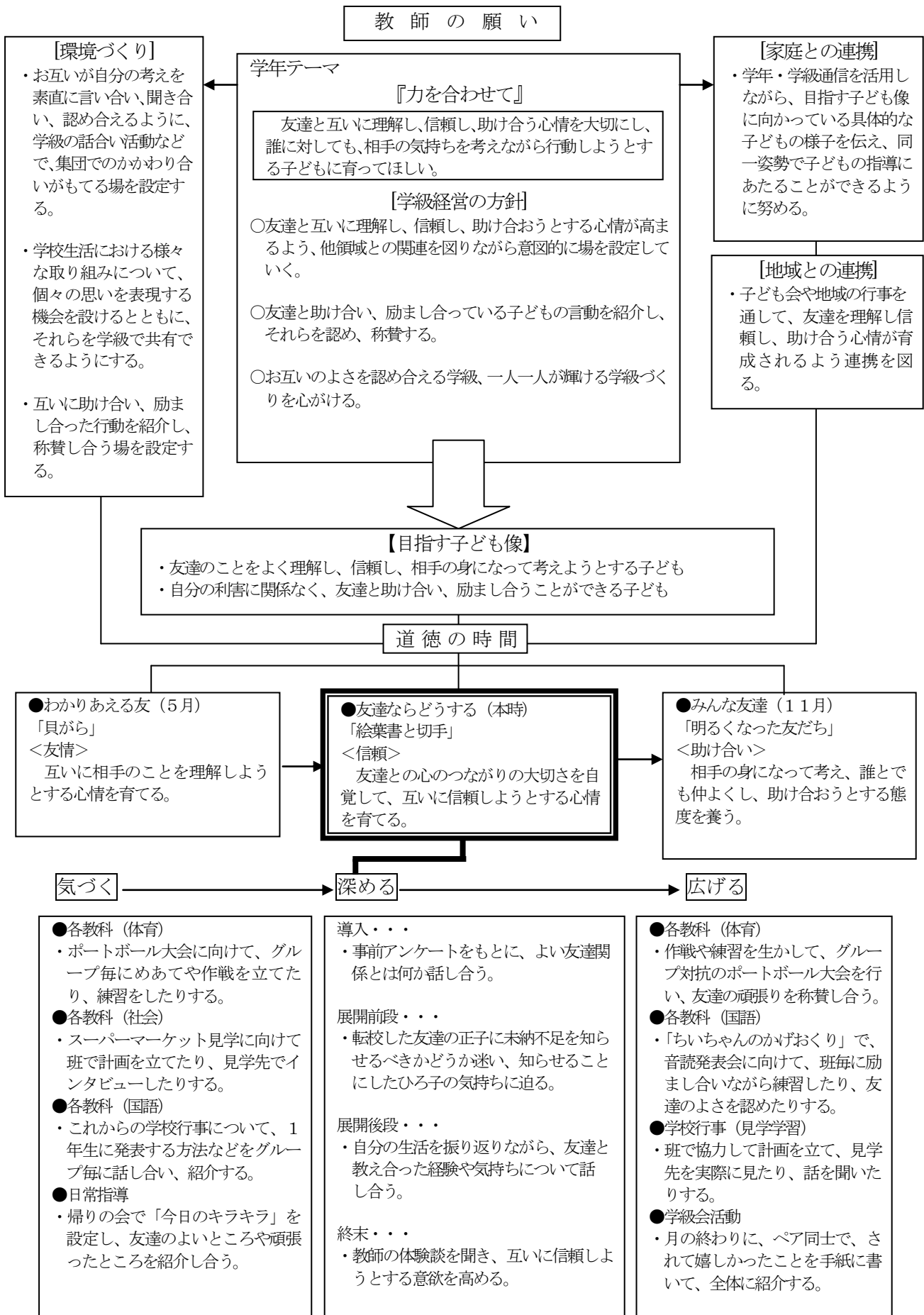
(4) 指導について

本時の授業では、料金不足を知らせるべきかどうか迷い、知らせることを決心した「ひろ子」の心情に着目させ、自分のこれまでの生活経験と重ね合わせながら、ねらいにかかわる価値について考えていけるよう、次の手立てを講じていく。

- ・導入の段階では、事前アンケートをとり、その結果から、よい友達とはどんな友達か話し合うことで、本時のねらいとする価値への方向付けをしたい。
- ・展開前段では、心情図を使いながらひろ子の気持ちを考えることで、ひろ子の迷いや葛藤を視覚的に捉えさせ、考えを深めさせたい。また、書く活動を取り入れ、料金不足を知らせることを決心したひろ子の気持ちを考えさせることにより、価値の内面化を図っていきたい。
- ・書く活動の後、ペア学習を取り入れることで、児童全員に自分の思いや考えを表現する機会を設けたい。さらに、お互いの考えを交流することで、多様な考えがあることに気付かせていきたい。
- ・展開後段では、これまでの自分の生活を振り返りながら、友達と教え合った経験について考えさせることによって、互いに信頼し合うことの大切さに気付かせたい。

4 指導の構想

「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う心」を育てる学級における指導の構想



5 本時の指導

(1) ねらい

友達との心のつながりの大切さを自覚して、互いに信頼しようとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習内容と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 (3分)	1 事前アンケートをもとに、よい友達関係について話し合う。 ○よい友達とは、どういう友達だと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> けんかをしない友達 いじわるをしない友達 困っているときに助ける友達 相手のことを考える友達 	<ul style="list-style-type: none"> よい友達関係について話し合うことで、本時のねらいとする価値への方向付けを図る。
展開前段 (33分)	2 資料を読み、内容を確認する。 ○迷っているひろ子の気持ちを考えながら読みましょう。		<ul style="list-style-type: none"> 資料の範読を聞くことにより、内容を確認させる。 資料を読んだ後に、絵葉書の実物を提示し、定形外郵便と通常葉書の料金の違いを理解させる。
	3 主人公の行動、気持ちについて考える。 ○正子から美しい絵葉書をもたらったとき、ひろ子はどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 美しいけしきだな。 絵葉書を送ってくれてうれしい。 会いに行きたいな。 早く返事を書こう。 	<ul style="list-style-type: none"> 転校した正子とひろ子は仲よしだったことを押えながら、美しい絵葉書をもって感激するひろ子の気持ちに共感させたい。
	○母と兄の意見を聞いたときのひろ子の気持ちを考えましょう。 ・母の言うとおりに、お礼だけ書いたほうがいいと考えたのは、どんな気持ちがあったからでしょう。 ・兄の言うとおりに、教えてあげたほうがいいと思ったのは、どんな気持ちがあったからでしょう。	<p>【お礼だけ書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教えるときらわれるかも。 知らなかっただけだ。 きずつかなくてすむ。 正子の気持ちが台なしになる。 <p>【教えてあげる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じまちがいをしなくてすむ。 正子のためになる。 正子なら分かってくれる。 <ul style="list-style-type: none"> どうしよう。 どちらも正子のことを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に心情図を提示することで、どうしようか迷うひろ子の気持ちを視覚的にとらえさせ、考えを深めさせたい。 兄と母の意見を聞いて、迷っているひろ子の気持ちに共感させたい。その際、どちらが正しいかだけで終わらないようにしたい。兄も母も友達のことを思っている意見であることを踏まえた上で、どうすることが本当に正子のためになるのかを考えさせたい。

	<p>◎やっぱり知らせようと決めたとき、ひろ子はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりした。 ・知らせてもなかよしはかわらない。 ・正子のために教えてあげよう。 ・正子なら分かってくれると信じよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動を取り入れ自分の考えを深めさせることで、価値の内面化を図りたい。 ・ペア学習を取り入れ、自分の考えを伝えさせたり、友だちの考えに触れさせたりすることで、多様な考えがあることに気付かせたい。
<p>展開後段 (6分)</p>	<p>4 これまでの生活を振り返り、友達と教え合った経験や気持ちについて話し合う。</p> <p>○ひろ子のように友達だからこそ教えてあげたことはありませんか。</p> <p>○友達に教えてもらってよかったことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除でふざけている友達に、しっかりやるように声をかけた。 ・スーパーマーケット見学のとき、一人で夢中になって調べている友達に、班で協力して調べたほうがいと教えてあげた。 ・国語で発表の練習をしているとき、一生懸命発表する友達に、ゆっくり話した方が聞きやすいと教えてあげた。 ・係の仕事を忘れていたとき、教えてもらってよかった。 ・歌を大きな声で歌っているとき、もう少し優しい声のほうがきれいに聞こえると教えてもらってよかった。 ・ポートボールの練習で、ドリブルばかりしていた自分に、仲間にパスをした方がもっとうまくいくと教えてもらってよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活を振り返り、自分の考えと道徳的価値を結び付けて考えられるようにする。
<p>終末 (3分)</p>	<p>5 教師の体験談を聞く。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験談を聞くことにより、互いに信頼しようとする意欲を高める。

絵葉書と切手

二人は一年からなかよし

絵葉書

- ・美しいけしきだな。
- ・絵葉書を送ってくれてうれしい。
- ・会いに行きたいな。
- ・早く返事を書こう。

挿絵 (母)

お礼だけ書く

- ・教えるときらわれるかも。
- ・知らなかっただけ。
- ・きずつかなくてすむ。
- ・正子の気持ちが台なしになる。

心情図

70円足りない

挿絵 (ひろ子)

- ・どうしよう
- ・どちらも正子のこと
を考えている。

挿絵 (兄)

教えてあげる

- ・同じまちがいをしなくてすむ。
- ・正子のためになる。
- ・正子ならきつと分かってくれる。

やっぱり知らせよう

挿絵

- ・すつきりした。
- ・知らせてもなかよしはかわらない。
- ・正子のために教えてあげよう。
- ・正子なら分かってくれると信じよう。

本当の友達なら・・・

相手のために言う
信じ合う

6 資料分析

資料名 絵葉書と切手
(出典：学研 みんなのどうとく 3年)

〔ねらい〕 友達との心のつながりの大切さを自覚して、互いに信頼しようとする心情を育てる。

